

チョーク一本で教育改革を
第5回全国模擬授業大会で考える

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1) おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2) 今日は、5月30日(日)に開倫塾主催で行われた「第5回全国模擬授業大会」のお話をさせていただきます。

2. 第5回全国模擬授業大会

- (1) 「チョーク1本の教育改革」をキャッチフレーズに、全国の学習塾・予備校・学校の先生方の中から授業に自信のある方々をお招きして行われました。
- (2) 小学校の先生方が1チーム8名、中学校は英語、数学、国語、それから理科・社会の科目ごとに分かれた4チーム、高等学校が1チームの計6チームに分かれて、先生方が授業の腕を競い合いました。
- (3) 15分間の制限時間で、新しく勉強することについて「これはこういう意味なんだよ」という学習の導入部分をどの先生が一番うまく説明できるのか、子どもを納得させることができるのか、つまり理解させることができるのかについての授業をしていただきました。
- (4) 審査は、CRT栃木放送の部長さんを含めた30名の方にいただきました。そして、各部門から選ばれた先生方に全体の前でもう一度授業をしていただき、その結果、千葉県の学習塾の先生が優勝しました。本当に素晴らしい授業でした。
- (5) 最後に、愛知県で1万数千名の塾生が学ぶ野田塾という学習塾の小川塾長先生から講評をいただきました。小川先生には去年も講評をしていただき、素晴らしいお話をさせていただきました。そこで、去年のCRT栃木放送でご紹介したお話を少しさせていただきます。

3. 審査委員長野田塾塾長小川英範先生のお話

- (1) 小川先生によると、先生には5つの役割が必要で、それを五者というそうです。
 - 1つは役者としての役割。
 - 2つめは、未来を占う易者としての役割。
 - 3つめは、体調を見ながら教える医者としての役割。
 - 4つめは、学問的に正確なことを教える学者としての役割。
 - 5つめは、子供たちを飽きさせることなく興味を惹かせ、おもしろおかしく教える芸者としての役割。

先生はこれら五者の役割を果たすことが大事であることを、小川先生は教えて下さいました。

(2)今年はそのことに加えて、次のことを話して下さいましたのでご紹介いたします。

1 つめは、先生は余り説教をしないほうがよいということです。余り説教ばかりしていると、生徒のやる気を引き出すことはできません。説教をするよりは上手にほめたほうがよい、ほめて気持ちをよくさせて、勉強のやる気を起こすことが一番大事であると教えて下さいました。

2 つめは、絶えず笑顔を保つということです。ためになることを、わかりやすくおもしろく、そして笑顔でお話する。先生がニコニコしていると子供たちもニコニコする。たまにはテレビのギャグを取り入れてリラックスさせることも大事だということです。

3 つめは、だらだらと話をせずにパッパッとできるだけ短いスパンで本質に到達することが大事だということです。余分なことばを捨て、余計なことを話さずに、本質的なことや大切なことだけを話して本論に達するのが素晴らしいということです。そのためには、事前に何を話すかを十分に考えておき、立て板に水のようによどみなく話すことが大事であるということも教えていただきました。

4 つめは、板書についてです。黒板に書くことは予めよく考えておき、後でノートを読み返すと、1 時間の授業の流れがわかるように板書をする必要があるということです。生徒は、先生が板書したことをノートに筆記し、そのノートを見て授業を思い出して定着する、つまり一度理解したことを身に付けるのです。ですから、生徒が後でノートを見たときにわけがわからないようでは何のための板書かわかりません。そのときの授業が思い出せるような板書をしたほうがよいということも教えていただきました。

5 つめは、ビジュアルコンテンツを利用することも大事だということです。これは、ことばでイメージを伝えることが難しいときに、事前にビデオや紙を用意して、テレビを見せたり黒板に貼ったりするというものです。

4. おわりに

(1)説教じみないこと、笑顔を保つこと、よどみなくわかりやすく説明すること、板書内容のこと、ビジュアルコンテンツを利用すること、このようなことを審査委員長である野田塾の小川塾長先生が教えて下さいました。

(2)授業は奥が深く、何を指すのかというゴールは皆違いますが、そのゴールを目指して頑張っていたきたいというお話で最後を結ばれました。このことも素晴らしいお話でした。

(3)今日は、5月30日に足利工業大学附属高校で行われた「第5回全国模擬授業大会」についてお話いたしました。皆様も、どのような授業がよい授業かについて、ぜひお考えいただければと思います。

2011年3月2日校正